

「みんなでつくろう 能登のわ」

1 趣 旨

不登校傾向にある中学生が、自分と対話する創作活動や他者と関わる体験活動の中で、互いに影響を与えながら、根気強く取り組むことを通して自立心やコミュニケーション能力を育成する。

2 ねらい

- (1) 体験活動や創作活動を通して、自分でできることを増やし、最後まで根気強く取り組む力を身につける。
- (2) 活動を通して、先生や仲間、職員と交流することで、親睦を深めるとともに、相手に対する思いやりの心や感謝の気持ちを育てる。

3 日 程

- (1) 期 日 1回目 平成27年 7月 9日 (木)
2回目 平成27年 7月16日 (木)
3回目 平成27年12月 9日 (水)～10日 (木)
- (2) 参加者 1回目 3名 2回目 3名 3回目 5名 合計 11名
(※いずれも七尾市教育研究所「わかたけ」に通室している生徒)

(3) 研修内容

【7月9日(木)】

10:00	10:30	12:00	13:00	15:30		
	入所式	ウォークラリー	昼食	七宝焼 アンケート		

【7月16日(木)】

10:00	10:30	12:00	13:00	15:30		
	入所	アーチェリー	昼食	革細工 アンケート		

【12月9日(水)～10日(木)】

10:00	12:00	13:00	18:00	20:00		
	入所オリエンテーション 散歩	昼食	館内OL パーティ準備	夕食 入浴	クリスマスパ ーティ	
朝食	クリアキャンドル	昼食	アンケート、退所 式			



アーチェリー



ウォークラリー



七宝焼

4 成果と課題

(1) 参加者の満足度結果から

事業の満足度をアンケートにより調べたところ、職員の助言に対する満足度は、7月も12月も100%であった。他の項目においても満足度が高く、余裕のあるスケジュールの中で、仲間とのふれ合いがあり、アーチェリーやクリスマスの集いなどがよい思い出となっているようである。特に冬は、寝食を共にすることで、さらに交流を深めた感がある。

(2) 生徒の感想

- ・ 今回初めてやったアーチェリー。一番始めは下手だったけど、だんだん上達していくのがうれしかったし、楽しかった。
- ・ 自分から進んで活動でき、あきらめずチャレンジすることができた。
- ・ 自分から進んで話すことができ、よかったです。ほかのこともがんばりたいです。

(3) 成果と課題

《成 果》

- ・ 不登校の生徒を対象に、日常生活から離れた中で自然体験活動や創作活動の機会を提供できた。特に、ハードルの高い宿泊体験を実施できことは、大きな成果である。
- ・ クリアキャンドルでは、一人一人が考えながら思い思いの作品を作り上げ、「クリアキャンドルがとても楽しかった。」という感想が聞けた。自分の思いを表現できたことが、満足につながったと言える。
- ・ 自己の振り返りシートを見ると、「友達のよいところを見つける」や「あきらめないでがんばる」の項目が向上していた。交流を深めたり、少し挑戦するような活動をしたことが要因と考える。
- ・ 事業終了後のアンケート評価も高く、今後も継続して利用したいとの声が聞こえた。

《課 題》

- ・ 今回、事前と事後に振り返りシートを使って、自分のことを評価した。自己を見つめる良い機会となったが、「友達の良いところを見つけられても、自分の良いところを見つけられない。」といった生徒がいた。活動の中で自己肯定感を高めるべく、一人一人をきとんと認めて声かけをしていく必要がある。



クリスマスパーティ
割りばし E. T.



クリスマスパーティ
新聞紙タワー



クリアキャンドル